

保護層付ポリエチレン管「エスロンエコハイパー」W」。製品の特長である「高耐久」「紫外線劣化防止」を生かし、傾斜地での配管に採用されています。

「エスロハイパー」W」の外面をリサイクルポリエチレン樹脂で保護した「エコハイパー」W」。紫外線による管の劣化を防止するほか、砕石等による外傷から、配管を防護します。

重機等による機械掘削が困難な、急傾斜地、山間地、土砂崩れ現場など、従来配管で施工困難な場所で役立っています。



〔事例1〕山間傾斜地での施工
エコハイパー JW150Aの施工状況。
φ150 - 5mの管重量は、約50kg/本。
重機が侵入できない山間部でも、人力で小運搬出来ます。



〔事例1〕山間傾斜地での施工
外面保護層には、柔軟性の高い低密度ポリエチレンを採用。エスロハイパー同様生曲げ施工により、構造物を避けて、配管出来ます。



〔事例2〕急傾斜地での施工
急傾斜地（のり面）にエコハイパー JW150Aを布設しました。斜面の傾斜45°以上。管固定には、コンクリート基礎を用いました。



〔事例2〕急傾斜地での施工
急傾斜部分など、掘削が困難な場合でもエコハイパーなら、紫外線劣化の心配がありません。安心して使用できます。



〔事例３〕破損管路の復旧
土砂崩れにより、破損した導水管 75 A の復旧作業にエスロハイパー JW 75 A を使用しました。



〔事例３〕破損管路の復旧
土砂崩れが発生した部分は、地盤が安定していない為、斜面下に配管を布設していきます。



〔事例３〕破損管路の復旧
直線部分は、作業性の良い場所で、あらかじめ E F 接合して作成した長尺管を運び込んで施工しました。75 A の場合 2 本つないでも約 30 kg と軽量です。



〔事例３〕破損管路の復旧
柔軟性のあるエコハイパーなら、足場が悪い山間部でも、樹木を避けながら布設場所まで運び込めます。

山間傾斜地など、従来施工が困難だった部分の施工省力化にエスロンエコハイパー JW が協力します。